

# ボルツ(株) 環境自主行動計画2021～2025年度

ボルツ株式会社は2021年度から2025年度までの環境自主行動計画を以下に定め、経営者のリーダーシップの元に環境保全活動および社会貢献活動に自主的に取り組む

## I. 2020年度の削減数値目標の達成状況と評価

環境自主行動計画目標0.50に対して0.60と未達。

今後、2021年8月の4ヶ月遅れで達成する見込み。(0.60⇒0.50)

廃棄物排出量及び川西工場(全検)スクラップ排出量は、当初計画通り目標達成。

実施事項分類	削減項目	削減数値目標	達成状況(年度未見込み)	主な理由
温暖化防止	素材購入量あたりのCO <sub>2</sub> 排出量	原単位 0.5 t-CO <sub>2</sub> /t	×: '20年現状 0.60 t-CO <sub>2</sub> /t	関連の新設備導入や品質不良品の作り直し等で電気CO <sub>2</sub> が増加
資源循環	素材購入量あたりの廃棄物排出量	原単位 28.3 kg/t	○: '20年現状 25.6 kg/t	新めつき設備導入効果により、めつき廃酸減少
資源循環	川西工場(全検) スクラップ排出量	原単位 58.4 t	○: '20年現状 54.2 t	新めつき設備導入効果、岐阜製造の打痕対策により、ロットタイ打痕不良が減少

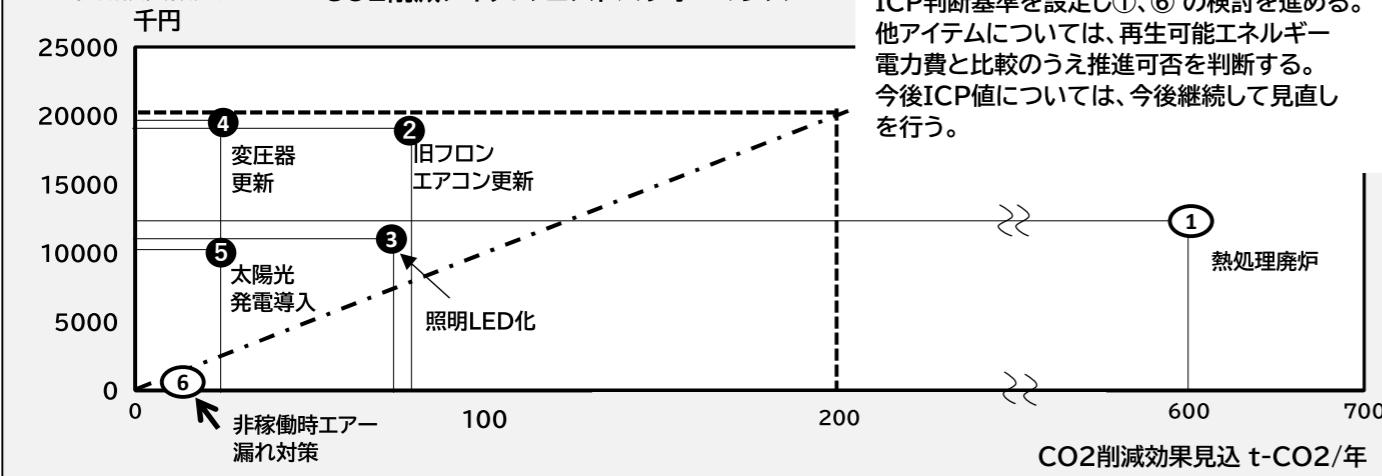
## II. 今回の主な改定内容

- CO<sub>2</sub>排出量、廃棄物排出量の2025年度削減数値目標を設定する。
- 事業構造の見直し(冷圧粗材供給 ⇒ 冷圧粗材+1次加工で供給)にともない、原単位を素材購入量(トンあたり)から売上(百万円あたり)へ変更する。
- 再生可能エネルギー導入と個別改善策を比較しながら、最も低コストな対策を推進する。  
また、CO<sub>2</sub>削減アイテムの対コスト効果を判断するための※Internal carbon pricing(ICP)の考え方を導入し評価する。(表1参照)

※Internal carbon pricing(ICP)

- 社内が内部的に使用する炭素価格
- 独自に自社の炭素排出量に価格を付け、何らかの金銭価値を付与することで、企業活動を意図的に低炭素に変化させることができる

表1 初期投資額見込 CO<sub>2</sub>削減アイテム コストパフォーマンス



ICP判断基準を設定し①、⑥の検討を進める。他アイテムについては、再生可能エネルギー電力費と比較のうえ推進可否を判断する。今後ICP値については、今後継続して見直しを行う。

## III. 2025年度 削減数値目標 (素材購入量トンあたりの原単位から売上百万円あたりの原単位へ変更する。)

	CO <sub>2</sub> 排出量			廃棄物排出量		
	'13年度 基準	'20年度 現在	'25年度 目標	'18年度 基準	'20年度 現在	'25年度 目標
2 t-CO <sub>2</sub> /m¥	0.920	0.966	0.525	2 kg/m¥	40.9	40.6
削減%	-	105%	△43%			

## IV. 実施事項

分類	実施項目	実施内容	担当
1 環境経営	(1)環境マネジメント	①環境マネジメントシステムの強化 ISO14001:2015改訂版の認証継続。 ②連結環境マネジメント 内外の子会社における環境法令順守と環境汚染の予防を図るため、現地環境法令や条例の把握と行動方式※での環境管理を継続する ※ボルツ本社の各部署が子会社の対面部署を個別に管理、指導していく方式 ③ビジネスマネジメントとの連携 現行管理システムの運用を継続する ④CO <sub>2</sub> 削減アイテムへの投資判断準を構築 Internal carbon pricing(ICP)の導入	人事総務
	(2)環境教育と啓発	子会社を含む従業員に環境教育、啓発活動を実施する	人事総務
	(3)環境情報の開示 コミュニケーション	・Webサイトにて自主行動計画及びその実績等の環境情報を順次開示する ・近隣の地域住民との対話を定期的に行う	人事総務 岐阜工場
2 温暖化防止	(1)生産段階における取り組み	①生産効率向上によるCO <sub>2</sub> 削減活動 生産工場の工程、設備について「日常管理」「運転管理」「寄せ止め」「工場再編」等によりCO <sub>2</sub> 排出量を削減する ②品質向上、生産ロス削減によるCO <sub>2</sub> 削減活動 会社中期計画の「品質・生産ロス半減活動」と連動させ、工程内不良やスクラップによって生じる不良の無駄を削減する ③物流における輸送効率向上的取り組み ・自社手配トラック便の輸送効率を上げCO <sub>2</sub> 排出量を低減する ・「金型」「素材」「部品」等の緊急輸送量を見える化し、納期遅れによって発生するCO <sub>2</sub> を削減する	川西工場 能勢工場 岐阜工場
	1 CO <sub>2</sub> 排出量 削減数値目標設定	(2)CO <sub>2</sub> 削減アイテムの導入 再生可能エネルギー(太陽光発電・電力会社の低CO <sub>2</sub> プラン・証券)と個別改善策を比較しながら最も低コストな対策を推進する	人事総務
	3 資源循環	(1)産業廃棄物の低減 ①生産工程から発生する廃棄物 汚泥・廃液等の脱水処理や濃縮減容処理等により、廃棄物排出量を削減する ②梱包資材の使用量低減 種類と使用量を把握し、削減活動を実施する ③排出物の削減 工程内から出る鉄スクラップの削減活動を、会社年度方針及び中期計画と連動して進め、廃棄物発生量(鉄スクラップ)を削減する ④レアメタルの回収・リサイクル 金型に使われる超鋼等のレアメタルの回収とリサイクルを実施する	川西工場 能勢工場 岐阜工場 生産管理G
3 資源循環	1 廃棄物排出量 削減数値目標設定	(2)生物多様性への対応指針 経営層がリーダーシップを持って推進する事で、生物多様性及び自然環境との調和を志す 1. 事業計画立案時における生態系への配慮 生態系、地域社会に大きな影響を及ぼす「事業計画立案時」「大型設備導入時」には環境アセスメントを行い生態系保護に配慮する 2. 生物多様性に資する行動 事業活動による生物多様性への影響に配慮し、自動的に工場からの排水、排出ガスを規制以下に保つことで工場周辺の自然環境、生態系を守る 3. 資源循環型経営の推進 産業廃棄物の削減、水使用量の削減等、省資源及び3Rに配慮した事業活動を継続する 4. 地域及び関係組織と連携した自然保護活動への参画 工場立地の地方自治体の自然保護活動への参画 自然環境保全、生物多様性保全活動等への参画 5. 生物多様性を育む社会づくりへの貢献 従業員への自然環境教育の実施 環境保全や自然環境保護活動の取組みの情報をWebで開示	川西工場 能勢工場 岐阜工場 生産管理G
	(1)環境負荷物質の管理	①製品含有化学物質の管理 ・使用済み自動車の最終処分における環境負荷低減のため、製品納入先と連携して、鉛、水銀、カドミウム、6種クロムやその他の使用禁止および制限物質の管理を継続して行う ・仕入先に対して環境負荷物質の管理と報告を求める活動を継続する ・梱包資材には禁止および制限物質が含まれないよう管理する ②生産に関わる化学物質の管理 PRTR対象物質の使用量、排出移動量を把握し、自主管理活動を実施する	人事総務
	(2)生物多様性への対応指針	経営層がリーダーシップを持って推進する事で、生物多様性及び自然環境との調和を志す 1. 事業計画立案時における生態系への配慮 生態系、地域社会に大きな影響を及ぼす「事業計画立案時」「大型設備導入時」には環境アセスメントを行い生態系保護に配慮する 2. 生物多様性に資する行動 事業活動による生物多様性への影響に配慮し、自動的に工場からの排水、排出ガスを規制以下に保つことで工場周辺の自然環境、生態系を守る 3. 資源循環型経営の推進 産業廃棄物の削減、水使用量の削減等、省資源及び3Rに配慮した事業活動を継続する 4. 地域及び関係組織と連携した自然保護活動への参画 工場立地の地方自治体の自然保護活動への参画 自然環境保全、生物多様性保全活動等への参画 5. 生物多様性を育む社会づくりへの貢献 従業員への自然環境教育の実施 環境保全や自然環境保護活動の取組みの情報をWebで開示	人事総務